妙高・高谷池周辺スキー

11．1．3－5
メンバー：菊地

1月3日(曇り後晴れ)
　杉野原スキー場トップから三田原山を目指す。
ここ数日の降雪で一気に積雪が増えたようだが、それでも積雪は少なく至る所で笹が出ている。尾根に取り付き一人でラッセルしていると後ろから単独と2人連れが追いつき4人でトレースを延ばし、2時間程で稜線に出る。3人はお釜に滑り込む様でここからは独りだ。釜も藪が多いが場所を選べば十分滑れそうだ。思わず1本滑りたくなるがグッとこらえて先に進む。
　三田原山のピークを越えると黒沢池までの滑走。斜度は緩いが雪質も最高で気持ちの良いツリーランが楽しめた。黒沢池でシールを張り目の前の茶臼山のコルを越えれば今夜の宿は直ぐそこで段々天気も良くなってきた。コルに立つと青空の下まっさらな火打山が現れた。緩やかな雪原をのんびり行くと程なくして三角屋根の高谷池ヒュッテに到着。辺りに人間のトレースは無いが、ウサギのトラックが縦横無尽に走りかなり活発に活動している様子。3F の冬季小屋入口付近にはどっさり雪が積もり暫く人が訪れていないのかも知れない。

　余り時間はないが、小屋に不要な荷物を置きサクラ谷を1本滑りに行く。1850m付近まで滑　ったが、やはりブッシュが多いが底なし雪で大満足。ヒュッテに戻る頃にはすっかり辺りは暗くなったが無風快晴で星が綺麗だ。

1月4日（雪）
　今朝は朝から雪、ヒュッテを出る時はかろうじて火打が望めたが、近づくにつれ天気は悪くなり山頂直下からは殆ど視界は無くみぞれ交じりの雪で、ありとあらゆる物が凍りついていく。山頂に着いたらシールを外して予備のゴーグルに換えてさっさと下山だ。山頂から直下のオープンバ　ーンに入りたかったが非常に視界が悪く残念だが諦めよう。空沢尾根に迷い込まない様注意しながら手探り滑走状態で100m程尾根づたいに高度を下げるとやや視界が利くようになった。ガスが薄くなる瞬間を狙って鍋倉谷へと滑り込む。余りの気持ち良さに奇声が上がる。ふと目の前を白いウサギが横切る。ゆっくり見たかったが、猛ダッシュで駆け抜け視界から消えて行った。毎回思うが余り栄養の取れないこの時期、無駄な体力を使わせてしまい申し訳ない。1850m位まで滑ったがこの辺りはさすがにまだ積雪が少ない。小雪が舞う中、藪を避けながら緩やかな斜面をヒュッテに向かい登り返す。途中、鍋倉谷でもう1本パウダーを頂く。昨日付けた登りのトレースは消えまたラッセルだった。毎日の一人ラッセル疲れもあってかややヘロヘロ状態で小屋に戻ると、今日も一人で貸切状態だった。

1月5日（雪）

今日は下山日だが冬型が強まる様で、風が唸りを上げている。小屋の中もかなり冷え込み中々布団から出れない。早朝に小屋の温度を見たら－8．8度だった。窓の外には高妻山が朝日を浴び赤みをおびて美しい。

小屋の掃除と雪掻きをして遅めの出発。晴れ渡っていた空も茶臼山を越える頃にはすっかり雪になっていた。茶臼山の斜面はパックされていたが、黒沢池から三田原山間は樹林に守られたフワフワな雪を踏みしめながら少しつづ高度を稼いで行く。三田原の稜線も視界が悪いので雪庇に注意しながら行く。今日は誰も上がって来ないだろうか。稜線から笹ヶ峰の林道方面はかなり藪が濃そうだが、そのままゲレンデに出てもつまらないので覚悟のうえで突っ込む。さっそく藪に阻まれるが、スペースを求め右に左へと移動しながら滑る。高度が下がるにつれ藪の濃度が増しスリリングな藪藪ツリーランとなった。あと2度程ドカ雪が来れば快適になりそうだ　。　今回は単独でフカフカな雪の中を3日間で40キロ近く滑ったり歩いたりしたが、ワカンだったら3分の1も消化出来なかっただろう。スキーの機動力をあらためて実感した山行だった。

地形図：湯河内、妙高山

コースタイム：

3日　杉野原スキー場1850m9：40～三田原山12：35・12：50～茶臼山コル14：15・14：35～高谷池ヒュッテ14：50

4日　ヒュッテ8：50～火打山10：30・10：40～鍋倉谷2000m付近11：00・11：20～鍋倉谷1860m12：35・12：50～ヒュッテ14：00

5日　ヒュッテ8：40～三田原山11：10～笹ヶ峰林道13：05～スキー場14：00